

史跡 宝満山

保存活用計画

令和 2 年 (2020) 3 月
筑紫野市
太宰府市

史跡宝満山保存活用計画

筑紫野市
太宰府市

序

筑紫野市長あいさつ

本市では、「自然と街との共生都市 ひかり輝くふるさと ちくしの」という理念のもと、市内に所在する豊かな歴史を継承・活用して誰もが住みよいと思えるまちづくりに取り組んでおります。史跡宝満山は筑紫野市と太宰府市に所在し、古来より信仰の山として知られ、人々の心の拠りどころとなってきました。山内には、古代から近世に至る山岳信仰に伴う遺跡が残されております。また、本山は豊かな自然環境が多くの人々を魅了し、年間 10 万人ともいわれる登山者が訪れる九州屈指の登山の山でもあります。

このたび史跡宝満山が持つ多様な価値を確実に未来に守り伝え、活用していくために、関係者が同じ志を持って取り組むための道標となる『史跡宝満山保存活用計画』を太宰府市と共同で策定いたしました。この計画のもと史跡の保存活用と、登山や自然環境保全等の多方面の取り組みとの調和を図り、両市で連携して今後の事業に取り組んでまいりますので、皆様のより一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、本計画の策定にあたりまして、ご多忙のなか熱心にご審議いただきました宝満山保存活用計画策定委員会の皆様や文化庁・福岡県の関係機関、そして貴重なご意見やご提案をいただきました市民および地権者の方々に深く感謝申し上げます。

令和 2 年 3 月

筑紫野市長 藤田陽三

太宰府市長あいさつ

本年度、太宰府市は光栄なことに新元号「令和」発祥の地となりました。これを機に、地域の特色であり豊かな資源である自然と数多くの歴史・文化遺産を最大限に活かしながら、更なる魅力あるまちづくりを進めてまいります。

さて、本市と筑紫野市の両市に跨る宝満山は、古代の山頂祭祀遺跡をはじめとして山麓を含む山中の広範囲に遺跡が展開しており、山全体が山岳信仰の対象となる信仰の山として重要であると評価され、平成25年(2013)10月17日付で国史跡の指定を受けました。

このことを契機として、史跡宝満山の多様な価値を次世代に確実に継承するとともに、多くの人々にとって身近で親しまれ続ける山となるよう検討を重ねてまいりました。そして、この度、二市が共同して『史跡宝満山保存活用計画』を策定し、ここにお示しする運びとなりました。

本計画は「山岳信仰と自然の山、史跡宝満山が感じられる心地よい空間の維持向上」を基本理念として、史跡宝満山の保存や整備、活用に係る道標となるものと確信しております。

この計画により、今後宝満山が地域住民の皆様により親しんでいただける史跡となるとともに、これまで史跡を守り語り継いでこられた先人の思いを次の時代を担う若い世代により広く伝えられることを期待しています。

結びに、本計画策定にあたり貴重なご意見やご提言をいただきました宝満山保存活用計画策定委員並びに関係機関、またパブリック・コメントをお寄せいただいた皆様に対しまして、深く感謝を申し上げますとともに、今後ともなお一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年3月

太宰府市長 楠田大蔵

例 言

- 1 本書は、福岡県筑紫野市・太宰府市に所在する、国指定史跡宝満山の保存活用計画書である。
- 2 本計画の策定事業は宝満山保存活用計画策定委員会を設置し、文化庁文化財第二課、福岡県教育庁教育総務部文化財保護課の指導・助言のもと、筑紫野市教育委員会と太宰府市教育員会で実施した。
- 3 事業にあたっては、筑紫野市と太宰府市で協定書を締結し、筑紫野市が補助事業主体者・事務局となり、文化庁国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金の交付を受けて実施した。
- 4 事業は平成30年度・令和元年度の2ヶ年で実施した。
- 5 計画策定に関連する業務の一部を株式会社修復技術システムに委託した。
- 6 本計画書を発行するにあたり、地権者並びに地域住民の方々ならびに関係機関及び関係者に多大なるご協力を頂いたことを謹んで感謝申し上げます。

凡 例

- 1 宝満山の名称について
史跡の名称「宝満山」は山岳名称であるため、本計画中では史跡名称をさす場合は「史跡宝満山」、山岳自体をさす場合は「宝満山」と区別して表記した。
- 2 「大宰府」と「太宰府」の違いについて
行政的な表記としては、古代律令時代の役所、及びその遺跡に関するダザイフは「大宰府」として、中世以降の地名については「太宰府」としている。

史跡宝満山保存活用計画 一目次

第1章 保存活用計画策定の目的と経過	1
第1節 策定の経緯	2
第2節 策定の目的	3
第3節 計画の対象範囲	3
第4節 計画期間	4
第5節 史跡指定	5
1. 指定の概要	5
2. 指定理由とその範囲	5
(1) 指定内容	5
(2) 指定地の範囲	6
3. 指定地の土地所有状況	8
第6節 宝満山保存活用計画策定委員会の設置と関連会議	9
1. 宝満山保存活用計画策定委員会の設置	9
2. 審議経過	10
3. 関係者会議	11
4. 関係者協議	12
5. パブリックコメント	12
第2章 位置と環境	13
第1節 位置	14
1. 筑紫野市の概要	14
2. 太宰府市の概要	14
3. 遺跡の位置	15
4. 関連史跡	15
第2節 環境	20
1. 自然環境	20
(1) 地形	20
(2) 地質	21
(3) 気候	22
(4) 動植物	23
(5) 景観	27
2. 社会環境	29
(1) 土地利用	29
(2) 建築現況	33
(3) 行政区	35

(4) 交通	36
(5) 利用実態	39
3. 史跡を取り巻く市の施策・情勢	43
(1) 上位計画・関連計画	43
(2) 関係法令と法規制	52
(3) 日本遺産	57
(4) スポーツ振興、観光経済対策	58
(5) 交通アクセス	58
(6) 維持管理	59
(7) 周辺地区状況	60
第3章 史跡の概要	63
第1節 宝満山の歴史	64
1. 古代の宝満山	64
2. 中世前期の宝満山	65
3. 中世後期の宝満山	65
4. 近世の宝満山	66
5. 近代以降の宝満山	67
第2節 各地区の概要	68
a. 上宮地区	68
b. 愛嶽山頂地区	70
c. 登拝道	71
d. 西院谷地区	72
e. 東院谷地区	76
f. 本谷地区	77
g. その他の山中地区	79
h. 下宮地区	80
i. 大門地区	83
第3節 自然災害	84
第4節 宝満山遺跡群の調査	88
1. 宝満山の研究史	88
2. 発掘調査	90
第5節 宝満山の文化財・文化遺産	93
1. 文化財（史跡、建造物、石造物、その他）	93
(1) 内山辛野遺跡	93

(2) 竈門神社社殿（下宮）	93
(3) 宝満山の石造鳥居	95
(4) 竈門神社下宮の石造物	96
(5) 宝満山関連資料	97
2. 文化遺産（民俗）	97
(1) 宝満山峯入り	97
(2) 宝満山十六詣り	98
(3) 北谷からの遥拝	98
第4章 史跡の価値	99
史跡宝満山の歴史的価値	100
史跡宝満山の景観的、自然的価値	100
第5章 保存活用の現状と課題	101
第1節 計画地全体の現状と課題	102
1. 保存管理	102
(1) 現状	102
(2) 課題	102
2. 調査・研究	103
(1) 現状	103
(2) 課題	103
3. 活用	104
(1) 現状	104
(2) 課題	104
4. 整備	105
(1) 現状	105
(2) 課題	105
5. 運営・体制の整備	107
(1) 現状	107
(2) 課題	107
第2節 各地区の現状と課題	108
第6章 基本理念	111
第7章 保存管理	113
第1節 保存管理の方向性	114

第2節 保存管理の方法	114
1. 構成要素別の保存管理	115
(1) 構成要素	115
(2) 構成要素別の保存管理の方法	128
2. 区域別の保存管理	129
(1) 計画対象範囲の区域区分	129
(2) 区域別の保存管理の方法	131
3. 現状変更等の取扱い基準	132
4. 追加指定及び公有化	136
(1) 追加指定の進め方	136
(2) 公有化の進め方	136
第8章 調査・研究	137
第1節 調査・研究の方向性	138
第2節 調査・研究の方法	138
1. 調査・研究のための体制整備	138
2. 総合的な調査・研究の推進	138
(1) 調査・研究の内容	138
(2) 各地区で推進する内容	139
3. 調査・研究成果の管理と公開	140
第9章 活用	141
第1節 活用の方向性	142
第2節 活用の方法	142
1. 情報発信の推進	142
2. 学校教育・社会教育との連携	143
3. 地域との連携	143
4. 多様な史跡との連携	143
5. 他市町村との連携	143
6. 各地区の活用	143
第10章 整備	145
第1節 整備の方向性	146
第2節 整備の方法	146
1. 整備の流れ	146
2. 防災・減災調査の実施と減災・安全対策	147

(1) 防災・減災調査	147
(2) 減災対策、安全対策	147
3. 整備計画の策定	147
4. 整備計画に沿った整備の具体的な手法	148
(1) 保存のための整備	148
(2) 活用のための施設整備	148
5. 各地区の整備	148
第11章 運営・体制の整備	151
第1節 運営・体制の整備の方向性	152
第2節 運営・体制の整備の方法	152
1. 管理組織の立ち上げ	152
2. 内部の体制の拡充	152
3. 横断的な情報共有の推進	152
第12章 今後の取り組み	153
第1節 事業推進プログラム	154
第2節 計画の見直し	159
参考資料	161
【年表】	163
【参考・引用文献】	166
【画像一覧】	167
【文化財保護法】	170
【宝満山保存活用計画策定に関する協定書】	187
【宝満山保存活用計画策定委員会設置条例】	189
【構成要素位置図、写真表】	190